

【農業と環境】

<学習内容について>

農業と環境に興味を持っている人の選択科目です。

基礎的な理科や社会の知識などを必要とします。

農業という植物・動物を育て商品として生産・経営する仕事と、それに関連する広い産業分野を学ぶ内容になります。理解を深めるためには自ら学び主体的かつ協動的に取り組む姿勢が必要となります。

<教材について>

教科書：『農業と環境』（実教出版）

<レポートについて>

レポートの回数は半期で4回、年間で8回です。

学習内容は以下の通りです。

[前期]

第1回：「農業学習とは何か」「人間と植物・動物とのかかわり」

第2回：「農業と食料供給」

第3回：「農業・農村の役割」

第4回：「これからの社会と農業・農村」

[後期]

第1回：「作物の特性と栽培のしくみ」「作物をとりまく環境とその管理」

第2回：「家畜の特性と飼育」「イネの栽培と利用」「トウモロコシの栽培と利用」

第3回：「ダイズの栽培と利用」「スイカの栽培と利用」「トマトの栽培と利用」

第4回：「ハクサイの栽培と利用」「ダイコンの栽培と利用」「ジャガイモの栽培と利用」

<学習の進め方について>

教科書を読みながら、レポートを完成させていきましょう。調べ学習もあるので、ネット検索や図書館等の活用が必要な場合もあります。分からないところが出てきたら、直接質問してください。電話での質問も可能です。スクーリングに出席した際に質問するのが、よいでしょう。

<スクーリングについて>

半期で5時間のスクーリングへの出席が必要です。計画的に、早めに出席するようにしましょう。スクーリングに出席する際には教科書・筆記用具が必要です。持参していないと出席が認められませんので、気を付けましょう。また、遅刻やスクーリングにふさわしくない行動などがあると、出席が認められない場合もありますので、気を付けましょう。

<評価について>

評価は、試験成績と平常点（レポートの提出状況や成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して100点法で行い、30点以上を合格とする。

[知識・技能]

農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身につけている。

[思考・判断・表現]

農業と環境に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。

[主体的に学習に取り組む態度]

農業と環境について基礎的な知識と技術が日常生活に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。